

第32回 職業リハビリテーション 研究・実践発表会

2024.11.13

阪和ビジネスパートナーズ株式会社
業務開拓推進部 辻 敏彦



01 本日の流れ

本日の流れ

- ・ 企業概要
- ・ 障害者雇用詳細
- ・ テレワークについて

02 企業概要

企業概要

阪和ビジネスパートナーズ株式会社

【 設 立 】 2024年4月1日

【 資 本 金 】 4000万円

【 社 員 数 】 41名（障害者30名）

【事業内容】 阪和興業株式会社の事務業務

【本格稼働】 2024年10月1日

企業概要

阪和興業株式会社

【設 立】 昭和22年(1947年)4月1日

【資本金】 456億5127万円

【売上高】 2兆6682億円

【社員数】 約2,330名

【国内事業所】 国内18事業所

【国内グループ会社】 49社

【海外事業所】 海外62事業所



企業概要



03 障害者雇用詳細

障害者雇用詳細

◆ 阪和ビジネスパートナーズ 30名

- ・ 大阪出社型 5名
- ・ 東京出社型 5名
- ・ テレワーク型 20名

◆ 阪和興業株式会社 17名

◆ 障害者雇用人数 2社合計 47名

※法定雇用率 2.53% (2024年9月現在)

障害者雇用詳細

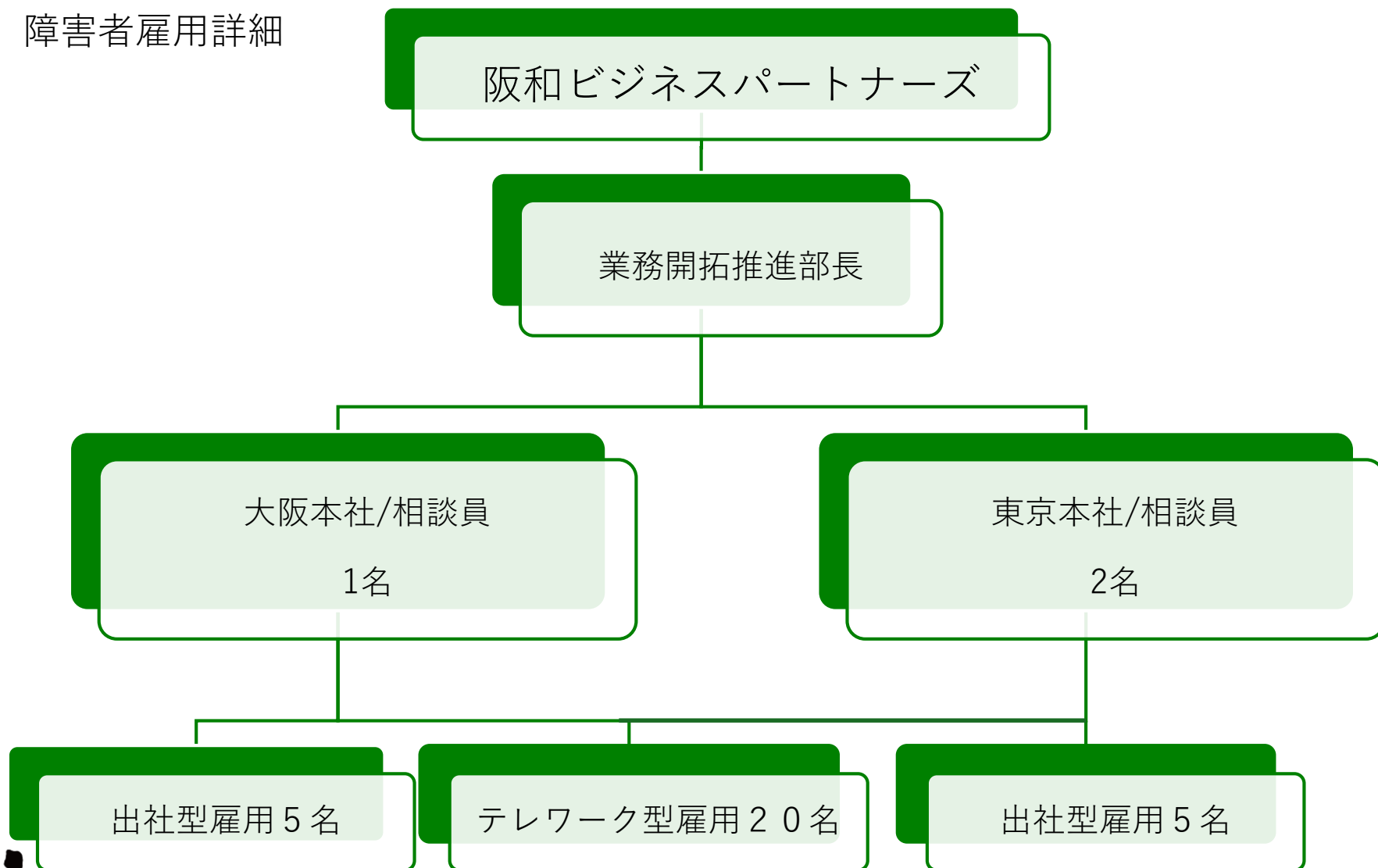
阪和ビジネスパートナーズ

身体:10名（テレワーカー9名：重度7名）
心疾患、肢体機能、頸椎損傷
腎疾患、脳性麻痺、他

精神:19名（テレワーカー11名）
統合失調症、うつ病、双極性障害、
高次脳機能障害、ASD、ADHD
てんかん

知的:1名

障害者雇用詳細



障害者雇用詳細

テレワーカーPC業務（各部署からの依頼）

依頼元	業務内容	作業内容
営業部署	基幹システム入出金	入力
営業部署	船積書類PDF加工保管	入力
管理部署	決算書入力	入力
管理部署	勤怠管理・勤怠チェック	チェック
管理部署	社員立替金精算領収書チェック	チェック
管理部署	電帳法取引データ名称変更	作成

障害者雇用詳細

出社型業務（各部署からの依頼・連携）

依頼元	業務内容	作業内容
営業部署	株価メール配信	作成
営業部署	納品データの入力	入力
営業部署	基幹システム入出金管理	管理
管理部署	郵便仕分け、社内配達	仕分け
営業部署	ミルシート仕分け、ファイリング	ファイリング
営業部署	請求書のPDF化、名称変更	電子化作業

※出社型はテレワーカー同様のP C作業も含む

04 テレワークについて

○ 2017年度 厚生労働省 「障害者テレワーク導入のための総合支援事業」に参加

- ・ 2017年 8月 先進企業視察
- ・ 2017年 10月 テレワークに積極的な地方自治体視察①
旭川市：企業説明会・模擬面談
- ・ 2017年 11月 社内研修（人事部、情報システム部）
- ・ 2017年 12月 社内テレワークトライアル（同上）
- ・ 2018年 2月 テレワークに積極的な地方自治体視察②
高知県：企業説明会・模擬面談（2月）

テレワークについて

在宅勤務否定派

- ・ 仕事は会社でするもの
- ・ 私がサボる！ 絶対サボる！
- ・ 管理が大変

厚労省テレワーク支援事業を経験して

- ・ sococoの凄さを実感
→ 出社環境再現
- ・ 先進企業事例視察
→ PC入力業務
- ・ テレワークを希望する方々との出会い
→ 地方創生への貢献

テレワーク雇用へ

テレワークについて

- ・ 2018 年 5 月 高知県四万十市にて2名雇用
- ・ 2019 年 1 月 大阪にて出社型社員1名がテレワークに変更
- ・ 2019 年 2 月 高知県四万十市にて1名雇用
- ・ 2021 年 2 月 5名採用 北海道、東京、奈良、和歌山、高知
- ・ 2021 年 9 月 2名採用 北海道、大阪
- ・ 2022 年 3 月 2名採用 大分、香川
- ・ 2022 年 9 月 2名採用 岡山、熊本
- ・ 2023 年 8 月 2名採用 大分、福岡
- ・ 2023 年 10 月 3名採用 福島、福岡、熊本
- ・ 2024 年 4 月 3名採用 高知、大阪、宮城
- ・ 2024 年 10 月 大阪にて出社型社員1名がテレワークに変更

合計20名在籍

サステイナブルな障がい者テレワークを目指して

孤独感を払拭したい。不安感を軽減したい。
相互理解を深める働き方を推進。

→TEAMSを接続したまま業務。

会話によるコミュニケーションを重視。

出社環境の再現。

会話しやすい雰囲気を作る。

相互理解を深める。

相互フォローを重視。



会話の増加 心理的安全性の向上

サステナブルな障がい者テレワークを目指して

○採用

- ・コミュニケーションを求める障害者が応募。
- ・実習にてコミュニケーション力を見る。
- ・同期入社でチームを組む。（2名～5名）
- ・入社後は就労環境確認として自宅訪問し関係構築。

○日常

- ・朝礼・昼礼を毎日実施。
- ・業務報告書を提出。
- ・本人、支援者、相談員3者面談を毎月1回実施。
- ・社外の障害者コンサル業者との面談を毎月1回実施。
- ・不調またはその兆しに応じて集中的に対応。

サステナブルな障がい者テレワークを目指して

○現状

- ・ 平均勤続期間 2年6カ月。（20名）
- ・ 退職者4名。（1年未満退職2名。） 平均勤続期間10カ月。
- ・ 時短勤務→フルタイム勤務 2名。
- ・ テレワーク転職2名→約4年継続。
- ・ 会社説明会への登壇、社会活動参加者増加。

○課題

- ・ 繋いだままの就労環境が負担となる場合あり。
 - カメラオフ、音声のみ接続。
 - チャットのみ。
- ・ チームワーク構築までに期間を要する。

サスティナブルな障がい者テレワークを目指して

○目標

- ・チームワークのはじまりとして
わからないことを聞き、教え合う関係構築が重要。
- ・テレワークのコミュニケーションとして
自宅（落ち着いた空間）



メール・チャット（一方通行、時間差）



音声のみの会話（双方向、同時）



画面での会話（表情による理解、本当に伝えたい事）

コミュニケーションの活発な就労環境の構築に挑戦します。

ご清聴ありがとうございました。

